

第78期 中間報告書

2012.4.1 ▶▶▶ 2012.9.30



SANWA REPORT



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社第78期（2012年4月1日～2013年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の状況

当期間における我が国経済は、復興需要などを背景に住宅投資、設備投資、個人消費などに持ち直しの動きが見られましたが、世界景気の減速などにより、景気は総じて弱含みで推移しました。海外（1月～6月）においては、米国経済は、第2四半期に入り個人消費の伸びが鈍化し、経済全体の足枷となりましたが、住宅建設市場は緩やかながら回復基調を維持しました。欧州経済は、ドイツの住宅建設市場は底堅く推移しましたが、ユーロ圏全体では、欧州債務危機による各国での緊縮財政の影響により個人消費が減退し、先行きに不透明感が強まりました。

このような環境下、当社グループでは、長期経営計画「2010ビジョン」の仕上げの年度として、国内においては、受注拡大や多品種化の推進、収益性の改善、生産性の向上に取組みました。米国では、買取事業とのシナジー効果創出やサービス事業の推進、材料費の値上がりに応じた価格引き上げの浸透に努めるとともに、輸送効率の改善やコスト管理の徹底によるコスト削減などにも積極的に取組みました。欧州では、堅調なドイツでの販売促進活動の強化で受注・販売数量の増加に努めるとともに、生産性の向上、コスト削減の徹底による収益性の改善を行いました。

以上の結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、大幅な増収・増益を確保することができ

ました。国内については、三和シャッター工業が大幅増収、三和シャッター工業以外の国内グループ会社も堅調であり、全体として大幅増収となりました。海外については、北米は、商業用ドアの大幅増収やガレージドアの回復傾向などドア事業が好調なことなどから、増収となりました。欧州は、ドイツ市場は堅調でしたが、南欧市場の減速や為替の影響もあり、円ベースでは減収となりました。これらの結果、連結売上高は大幅な増収を確保することができました。

利益面においても、国内では、三和シャッター工業が増収効果などにより大幅増益となり、北米では、材料費高騰の影響を受けたものの、増収効果やコストダウンにより大幅増益、欧州では、コストアップを吸収できず、小幅ながら減益となりました。これらの結果、連結利益は営業利益、経常利益、純利益ともに大幅増益となりました。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では、復興需要、海外経済の改善などにより、景気は緩やかに回復することが期待されていますが、中国・欧州経済の減速などの景気下振れリスクも抱えています。米国では、個人消費の底堅さ、住宅市場の改善などを背景に緩やかに回復するものと見込まれますが、緊縮財政など懸念材料があります。欧州では、輸出には底堅さが見られる一方、内需は停滞しており、マイナス成長が予想されています。

このような環境下、国内では、間仕切・自動ドアエンジンなどのグループ内での事業統合・整理を進め、三和シャッター工業の販売ネットワークを活かした一括受注体制を強化し、多品種化を推進していきます。また、北米では、収益性の向上と成長領域拡大を目指すサービス分野の強化を図り、また、引き続き住宅用開閉機事業の強化に取組んでまいります。欧州では、構造改革や中国調達積み増しなど、追加コスト削減策を推進し、また、英国ガレージドア事業のシェア向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の経営方針ならびに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

代表取締役会長兼社長 高山 俊隆

地域別営業の状況 (第2四半期連結累計期間)

日本	売上高	70,141百万円
	営業利益	3,398百万円

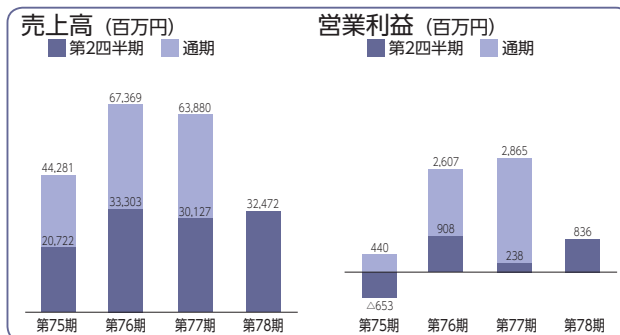
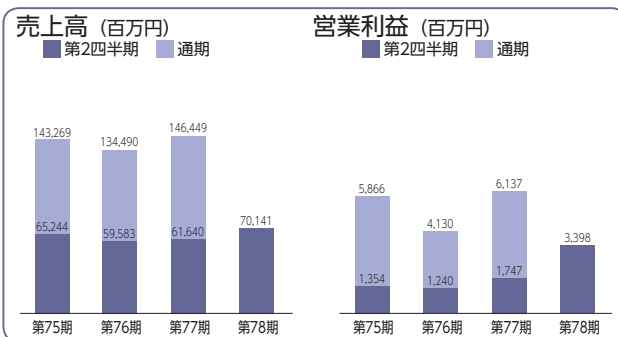
メンテナンス・サービスは震災対応後の反動で減収となりましたが、軽量シャッター、ビル・マンションドアともに大幅増収、重量シャッターも建設投資が堅調に推移し増収となり、売上高は前年同期に比べ13.7%増の701億4千1百万円となりました。

営業利益は、中核事業会社の三和シャッター工業が増収効果により大幅な増益となり、国内グループ会社においても改善傾向が顕著となり、前年同期に比べ94.4%増の33億9千8百万円となりました。

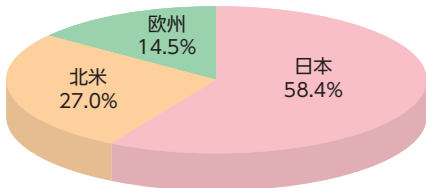
北米	売上高	32,472百万円
	営業利益	836百万円

ドア事業は商業用ドアの大幅増収、ガレージドアの回復傾向に加えて、ドアサービス会社買収効果もあり大幅増収、開閉機事業は商業用が好調維持、車両用ドア事業も運輸業界の回復により、また、自動ドア事業も買収効果もあり増収を確保し、売上高は前年同期に比べ7.7%増（現地通貨ベースでは10.4%増）の324億7千2百万円となりました。

営業利益は、材料費高騰の影響を受けましたが、増収効果やコストダウンにより、前年同期に比べ250.3%増（現地通貨ベースでは259.1%増）の8億3千6百万円となりました。



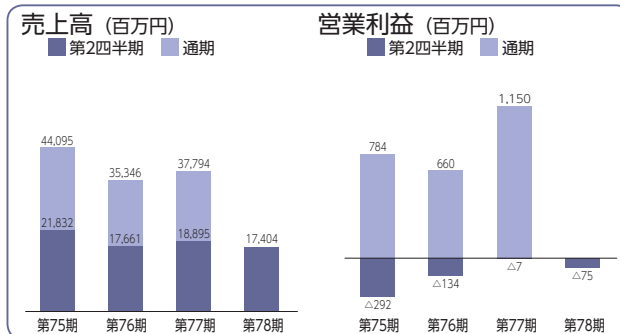
●地域別売上高構成比



欧州	売上高	17,404百万円
	営業損失	△75百万円

欧州財政危機による南欧の市場減速影響を受けているものの、ドイツを中心としてガレージドア、産業用ドアが増収、ヒンジドア事業は住宅・商業用とも増収となり、売上高は現地通貨ベースでは3.0%増となりましたが、為替の影響により前年同期に比べ、円ベースでは7.8%減の174億4百万円となりました。

利益面では、施工費や人件費アップをコスト削減で吸収し切れなかったことから7千5百万円の営業損失となりました。（前年同期は7百万円の営業損失）



(注1) 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

(注2) 記載金額・%は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(注3) 第76期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しているため、第75期のセグメント情報については、変更後のセグメントに組み替えた数値を用いております。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

科目	前期末 (2012年3月31日)	当第2四半期末 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産	122,962	121,659
現金及び預金	16,920	14,285
受取手形及び売掛金	61,578	52,692
有価証券	1,729	5,693
棚卸資産	36,589	42,218
その他	7,366	8,146
貸倒引当金	△ 1,221	△ 1,376
固定資産	103,617	102,818
(有形固定資産)	(49,544)	(48,448)
建物	15,255	14,929
土地	22,291	22,269
その他	11,996	11,249
(無形固定資産)	(15,999)	(16,259)
のれん	3,225	3,137
その他	12,773	13,122
(投資その他の資産)	(38,074)	(38,109)
投資有価証券	25,337	24,850
その他	13,229	13,733
貸倒引当金	△ 492	△ 473
資産合計	226,579	224,477

※ 当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額 69,878百万円

四半期連結損益計算書の要旨

科目	前第2四半期累計 (2011年4月1日～ 2011年9月30日)	当第2四半期累計 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)
売上高	110,724	120,091
売上原価	82,638	89,158
売上総利益	28,085	30,932
販売費及び一般管理費	26,849	27,657
営業利益	1,236	3,275
営業外収益	670	731
営業外費用	849	754
経常利益	1,058	3,252
特別利益	25	72
特別損失	575	612
税金等調整前四半期純利益	508	2,711
法人税等	363	1,198
少数株主損益調整前四半期純利益	144	1,513
四半期純利益	144	1,513

※ 当第2四半期連結結果計算期間の1株当たり四半期純利益 6円30銭

(単位：百万円)

科目	前期末 (2012年3月31日)	当第2四半期末 (2012年9月30日)
負債の部		
流動負債	77,174	76,602
支払手形及び買掛金	38,334	34,644
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
短期借入金	7,137	8,270
1年内返済予定の長期借入金	818	811
その他	25,884	27,875
固定負債	63,883	62,640
社債	31,400	31,400
長期借入金	17,251	16,776
退職給付引当金	8,779	8,919
その他	6,451	5,544
負債合計	141,057	139,243

純資産の部

株主資本	94,620	94,991
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	25,998	26,505
自己株式	△ 9,694	△ 9,830
その他の包括利益累計額	△ 9,224	△ 9,861
その他有価証券評価差額金	△ 3,315	△ 4,482
為替換算調整勘定	△ 5,909	△ 5,379
新株予約権	126	103
純資産合計	85,522	85,233
負債純資産合計	226,579	224,477

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	前第2四半期累計 (2011年4月1日～ 2011年9月30日)	当第2四半期累計 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 299	4,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,306	△ 2,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	△ 320
現金及び現金同等物に係る換算差額	347	17
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,955	1,585
現金及び現金同等物の期首残高	20,306	16,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,351	18,410

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

三和の独立型ガレージ

「カポレージ」用緑化システム

コフレガーデン

「カポレージ」の屋根が目にもやさしい緑の癒しスペースに早変わり。
景観の向上に加え、夏場のガレージ内の温度上昇や母屋への強い照り返しを抑える効果など、心地よい暮らしをサポートします。



三和シャッター工業株式会社では、独立型ガレージのロングセラーであるカポレージの折板屋根に緑化システムを組み込んで、夏場の庫内の温度上昇を防ぎながら、屋根の上の植物の成長と緑のある生活を楽しむことができるカポレージ用緑化システム「コフレガーデン」を8月より発売いたしました。

「コフレガーデン」は、カポレージの屋根にユニット式の緑化カセットを並べて固定させるだけの簡単施工で、水やりも家庭用ホースを灌水装置に接続させて行うことができます。

植物は3種類から選ぶことができ、自由で個性的な空間を演出できます。

■植物の種類と特徴

ヘデラ ヘリックス



常緑のつる性植物。
丈夫で成長が早い。

ハツキカズラ



新葉がピンク→白→白斑と変色し、最終的に緑葉になる。
春の芽出しの時期は特にカラフルで、秋から冬には紅葉し赤みを帯びる。

フィリフェラ オーレア



黄金色で美しい品種。
枝葉が糸のように伸び、垂れ下がりがボリューム感が出る。

三和シャッター工業は、環境に配慮した商品、省エネに寄与する商品、自然エネルギーを活用した商品の企画開発を通して環境ビジネスの拡大を図るとともに、CO₂排出量の削減につながるエコ商品の開発・提供に積極的に取り組んでいます。

当社グループは、今後とも、持続可能な社会に貢献する商品づくりに取り組んでまいります。

※コフレガーデンは、緑化システムを“箱庭”に見立て、小箱のフランス語である「コフレ」と「ガーデン（庭）」を組み合わせた造語です。

Stainless steel Automatic Door
ST制振オートドアしずか君

業界初！制振性と安全性を両立！！ 特許申請中



自動ドアの振動を低減！
静かな快適エントランス。



三和タジマ株式会社では、制振性と安定性を両立させた新製品ST制振オートドア「しずか君」を9月より発売いたしました。

ST制振オートドア「しずか君」は、データに裏打ちされた確かな制振性能で直上階を居室として使用するマンションや病院などのエントランス用自動ドアとして最適です。

また、火災時の温度上昇により建物と自動ドアの固定部に使われている制振ゴムが万が一消失および欠損した場合でも、最大傾斜角度が約1度以内で設計されているため、ドアの傾きにより避難に支障をきたすおそれを低減しています。

当社グループでは、国内の全体最適化とグループ多品種化の構築を目的として、2011年10月に自動ドアの販売部門を、昭和建産から三和シャッター工業へ移管しており、ST制振オートドア「しずか君」の販売は、三和タジマと三和シャッター工業が共同で行ってまいります。

また、昭和建産製のエンジンを使用しており、本商品を足がかりとして、当社グループとしての自動ドアのさらなる拡販に努めてまいります。

会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数 (連結) 8,365名

※従業員数は就業人員数を記載しております。

- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03) 3346-3019 (代表)

- 主なグループ会社 三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
Sanwa USA Inc. (アメリカ)
Overhead Door Corporation (アメリカ)
Novoferm Europe Ltd. (イギリス)
Novoferm Germany GmbH (ドイツ)
Novoferm GmbH (ドイツ)
Novoferm France S.A.S. (フランス)
Novoferm Nederland B.V. (オランダ)
Novoferm Schievano S.r.l. (イタリア)

- ホームページアドレス <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

役員

- 代表取締役会長兼社長
CEO兼COO 高山 俊隆
- 代表取締役
執行役員副社長 南本 保 社長補佐
- 取締役
専務執行役員 谷本 洋実 海外事業部門担当
- 取締役
専務執行役員 高山 靖司 経営企画部門担当
- 取締役
専務執行役員 上枝 一郎 国内事業部門担当
- 取締役
常務執行役員 福田 真博 海外事業部門担当補佐兼
米州事業担当
- 取締役 橋本 俊作
- 常勤監査役 中屋 俊明
- 常勤監査役 市岡 次郎
- 監査役 田辺 克彦 弁護士
- 監査役 森元 淳平

※ 橋本俊作氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※ 田辺克彦氏および森元淳平氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 ※ 当社は株式会社東京証券取引所に対して、橋本俊作氏、田辺克彦氏、森元淳平氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 257,920,497株
- 株主数 12,667名
- 大株主

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	16,342	6.81
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフ シー) サブアカウントアメリカンクライアント	15,905	6.63
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社 (信託口)	14,074	5.86
株式会社三井住友銀行	11,299	4.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口9)	10,114	4.21
第一生命保険株式会社	8,100	3.37
日本生命保険相互会社	7,924	3.30
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	7,077	2.95
日新製鋼株式会社	6,968	2.90
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リユースタッフズエンゲージメントベンションファンズ	6,213	2.59

※当社は自己株式 18,125,435株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

※記載数値は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
- 同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 (証券コード5929)
- 公告方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。